

由布市小原自治区（西庄内西部地域）

直売所を核とした集落間交流と地域福祉の推進

地区の概要

所在地：由布市庄内町
 世帯数：517世帯
 高齢化率：44%

構成集落数：9集落
 人□□：1,132人

平成29年4月時点

取組のきっかけ

小原自治区では、平成26年に市が進める地域が主体となった個性ある地域づくりによる地域活性化に着手した。
 地域内の野菜直売所「柿の木畑」を運営する地元料理研究会メンバーを中心に、まず、地区の課題を把握するとともに、「柿の木畑」を核として、市役所や市社会福祉協議会と協働し、一人暮らし高齢者の見守りや生きがいがづくりなど、地域福祉の取組も進めることとした。

地域課題解決の取組イメージ

『柿の木畑』を軸として、地域の連携強化を図る。



ほっとステーションおばら「柿の木畑」

活動拠点 由布市庄内町大字小原
 施設概要 事務所、加工所
 主な取組

- ①農産物直売所「柿の木畑」の運営
- ②農産物の販売
- ③弁当等の製造、販売
- ④集落間交流事業
- ⑤高齢者の健康・生きがいがづくり事業 など



取組の検討・実施

【高齢者への弁当宅配の試行】
 訪問して少しおしゃべりするだけでも、大変喜ばれる。「弁当は大変助かる」との評価をいただく。



【認知症サポート事業の展開】
 市社会福祉協議会と連携し、認知症サポーター講座を受講し、認知症対策のオンラインカフェを開催。



【世代間交流事業の実施】
 地区内園児が高齢者に歌を披露する世代間交流事業も実施。

地域の声

- ・一人暮らしに気をかけて頂いて感謝している。
- ・柿の木畑が憩いの場ともなって、楽しい。

今後の方針

- ・活動の核となる『人』の確保、育成に向けた取組を行う。
- ・活動を継続させるため、『財源』の確保に向けた取組を行う。